

学校長挨拶

学ぶことに支えられた青春の探求

新潟県立高田高等学校長 草間 俊之（高25回）



高田高等学校校友会東京支部の皆様には、日頃から、多大な御支援をいただいております。心より感謝申し上げます。また、先般は、東京支部総会に御招待いただき、多くの方々から、母校を思う温かい激励をいただきました。重ねて御礼申し上げます。

さて、体育館工事は、来年2月の完成に向けて、基礎コンクリート打設が続けられています。来年3月の卒業式は、新しい体育館で行うこととしております。また、グラウンドとテニスコートの工事も、来年6月の完成を目指して、漸く始まりました。夏休みに入って、全員補習の後、1年生は妙高・火打の縦走など8コースに分かれての全校登山、2年生は東北大学オープンキャンパスへの参加、3年生は志賀高原での学習合宿、またテニス部や陸上部、百人一首部、将棋部は全国大会と充実した日々を送っています。また、3年生を中心にいつも通り登校し、学校で勉強している生徒も多くいます。高高生は、猛暑にも負けずに、学ぶことに支えられた青春を探求しています。

高田高校は、時代が変わっても、高高生1人1人が、仲間たちと学習や部活、生徒会活動等において、思春期の自分の存在を確かめつつ、様々な面で切磋琢磨しながら、自分で自分を鍛える場であります。

956名の在校生と高田高校卒業生20名を含む77名の教職員は、これまでの母校の伝統を守りながら、新校舎に新しい歴史を刻むべく、心を一つにして頑張っているところでもあります。

末筆ながら、高田高等学校校友会東京支部の益々の御発展を祈念するとともに、今後の御支援を御願い申し上げ、御挨拶とさせていただきます。